深田工業株式会社

安全のため、ご使用前に本体付属の『取扱説明書』をよくお読みの上、正しく設置してください。

ナイト・ホーク 住宅用火災警報器 煙式(光電式) [乾電池式] PE9J (深田モデル) 取付要領書

この 『取付要領書』 をお読みになる時に、それぞれの項目の文頭にある「□」や「◇」に☑マークを入れると、お客様ご自身のご確認ともなりますのでご活用願います。

取付要領書について

□ 正しく取り付けるために本取付要領書を必ずお読みください。
□ 本取付要領書を良く読んで理解し、確実に取り付けてください。
□ 火災などによる損害については、いかなる場合もその責任を負いかねますのでご了承ください。
□ 本製品の警報音はかなり大きな音なのでお年寄りや心臓の弱い人はご注意願います。
(日頃のテストで警報音に慣れてください)

付属品

◇ 本体 (煙警報器)	1台
◇ 取付ベース[本体付属]	1台
◇ 電池[本体付属]	1個
◇ 取付ネジ (金属製)	2個
◇ アンカー (樹脂製)	2個
◇ ロックピン (樹脂製)	1本

⚠ 警告

【安全上の注意】
ケガや事故のないよう下記の項目を必ずお守りください。
□ 本製品の取り付け、取り外し、又は定期点検では高所作業となりますので、転倒・落下などに十分注意してください。
□ 本製品の取り付けは天井又は壁面の構造物 (梁や補強材) にしっかりと取り付けてください。
取り付けに不備があると落下する可能性があります。
また、石膏ボードなどに取り付けた場合も落下の可能性があります。本製品の落下はケガや他の物を傷つける恐れがあります。
□ 乾電池を入れる時は濡れた手では行わないでください。
感電の危険があります。
また、液漏れした乾電池を使用すると製品本体が壊れるおそれがあります。

⚠ 注意

□ 本製品を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。製品の故障の原因となる可能性があります。
□ 本製品を分解したり改造したりしないでください。
□ 本製品の表面にペンキを塗らないでください。
□ 本製品にキズを付けたりしないでください。
□ 指定の電池以外の物を使用しないでください。
□ 電池が入っていないとフタが閉まりません。
□ 電池が入っていないと本製品は作動しません。
□ 電池が入っていないと取り付けることができません。

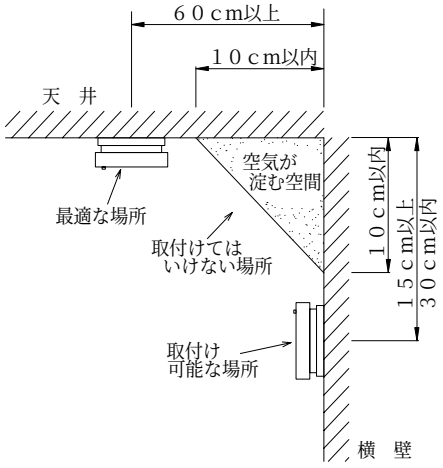
⚠ 本警報器は自動的に消防署に通報される火災感知装置や自動的に消火する消火装置ではなく、あくまで簡易型の煙警報器であり、煙を検出して大きな警報音を発生するものである。

推奨取付場所

□ 次のような場所に取り付けることをお奨めいたします。
- 居間
- 寝室
- 書斎
- 押入れ
- クローゼット
- トイレ
- 階段最上部
- 廊下
- 台所 (状況により設置は注意してください。)

□ 取り付けの位置
- 天井取り付けの場合、部屋の角から60cm以上離す。
- 壁取り付けの場合、天井から15cm以上30cm以内に取り付け、かつどの部屋の角からも60cm以上離す。

□ 周囲温度
- 設置場所の周囲温度が5℃～40℃の場所
- 一日の温度変化が0℃～49℃の範囲で、上記の場所



⚠ 注意

□ 次のような場所にはお奨めできません。
【下記の1m以内には取り付けない】
- エアコンや送風機の吹き出し口及び吸い込み口 ← 煙を正しく検知しない可能性があります。
- 天井取り付けファンなど ← 煙を正しく検知しない可能性があります。
- 浴室あるいはシャワー室の近く ← 湿気が誤報を起こす可能性があります。
- 蛍光灯や電磁波を発生する電気品の近く ← 電磁波が誤報を起こす可能性があります。

【下記の場所には設置しない】
- 車　庫 ← 排気ガスを検知してしまう可能性があります。
- 常時、周囲温度が5℃未満あるいは40℃を超える場所 ← 本製品が正しく動作しない可能性があります。
- 屋根裏、倉庫などホコリのある場所 ← ホコリが誤報を起こす可能性があります。
- 浴室やシャワー室内 ← 湿気や結露が本製品に悪影響があります。

取 付 方 法

□ 警報器本体を"OFF"の矢印の方向に回して本体から取り付けプレートを外してください。

□ 取り付けプレートの"A"－"A"ラインを、天井取り付けの場合は廊下もしくは壁と平行に、また壁取り付けの場合は床と水平になるように取り付けてください。

□ 天井取り付けの場合は図1を参考に、壁取り付けの場合、図2を参考の上、確実に取り付けプレートを取り付けてください。

□ 乾電池は本体の電池入れの中に左右逆向きに収納されています。これは出荷からお客様がご使用されるまで乾電池の消費を抑えるためです。
乾電池入れのふたを指の先などで開き、中の乾電池を取り出します。
電池入れの中にプラス（＋）とマイナス（－）の表示がありますので指示どおりに乾電池を入れ直してください。
プラスとマイナスを間違えて電池入れに収納する事は不可能です。
この時、赤い爪のような物を押し下げるようにしながら乾電池を収納するようにしてください。
この赤い爪のような物を押し下げないと電池入れのフタを閉めることができません。（図3参照）

□ 警報器本体と取り付けプレートの側面にそれぞれ表示されている、取り付けのための「┃」マークを合わせながら押し当て警報器を"ON"の矢印の方向（図4参照）にロックするまで回転して固定してください。
これが不完全ですと脱落の危険がありますのでご注意願います。

□ 警報器を取り付けプレートに取り付けた後、「いたずら防止用固定ピン」を図5のとおり取り付けてください。
乾電池交換などのためにはこの「いたずら防止用固定ピン」をプライヤーやペンチなどを使って抜き取らないと警報器本体を外すことができなません。
このピンを外さないで警報器を外そうとすると警報器本体が壊れる可能性があります。

□ 取り付け後、テストボタンを数秒間押し下げた状態で保つ事でテストを行う事ができます。
これにより警報が鳴り、正常に作動しているか確認できます。
この警報音はかなり大きな音なのでお年寄りや心臓の弱い人はご注意願います。

壁に取付ける時は
"A"－"A"ラインを水平にし、
"UP FOR WALL MOUNTING"
のマークが上になるようにする。

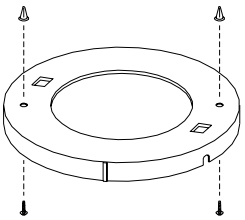


図 1

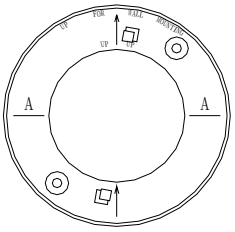


図 2

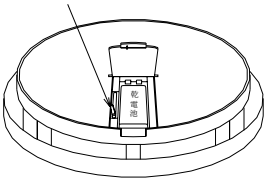


図 3

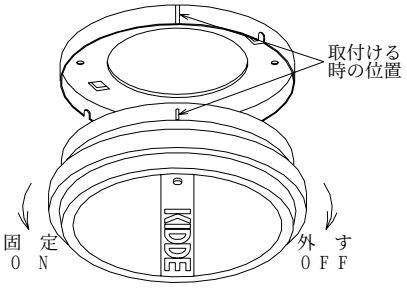


図 4

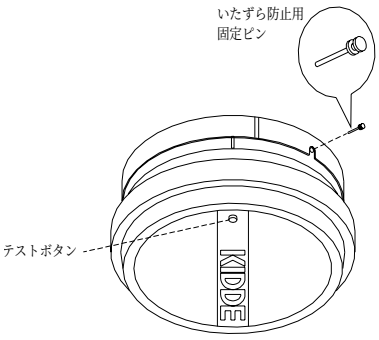


図 5

深田工業株式会社　〒108-0073　東京都港区三田3-1-5　TEL：03-3452-2303(直)　FAX：03-3453-9215
http://www.fukada-kogyo.co.jp　E-mail：jutaku@fukada-kogyo.co.jp

この取付要領書は2005年3月の編集です。
新たに製品を購入した場合、改正されている場合があります。
取付要領書コード：NH-JP-PE9J-IM(2005.03)